



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン銀行
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 松橋 正明
 (コード番号：8410 東証プライム)
 問合せ先 常務執行役員企画部長 清水 健
 (TEL：03-3211-3041)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間より、国内 A T M 事業における有形固定資産のうち、A T M の耐用年数を 5 年から 7 年に変更いたしました。

これに伴い、本日開催の取締役会において、2026 年 5 月 8 日に公表した業績予想を以下の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、2027 年 3 月期の配当予想につきましては、変更ございません。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

2027 年 3 月期第 2 四半期（累計）（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	114,000	13,500	6,500	5.56
今回修正予想 (B)	114,000	15,500	8,000	6.84
増減額 (B-A)	0	2,000	1,500	
増減率 (%)	0.0	14.8	23.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	107,552	14,814	9,966	9.35

2027 年 3 月期通期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	235,500	29,500	17,000	14.55
今回修正予想 (B)	235,500	33,500	20,000	17.12
増減額 (B-A)	0	4,000	3,000	
増減率 (%)	0.0	13.5	17.6	
(ご参考) 前期実績	220,025	30,165	13,476	12.14

（２）個別業績予想の修正

2027 年 3 月期第 2 四半期（累計）（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	73,500	13,000	9,000	7.70
今回修正予想（B）	73,500	15,000	10,500	8.98
増減額（B－A）	0	2,000	1,500	
増減率（％）	0.0	15.3	16.6	
（ご参考）前期第 2 四半期実績	70,935	13,979	9,609	9.02

2027 年 3 月期通期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	149,000	25,000	17,000	14.55
今回修正予想（B）	149,000	29,000	20,000	17.12
増減額（B－A）	0	4,000	3,000	
増減率（％）	0.0	16.0	17.6	
（ご参考）前期実績	142,951	26,697	18,016	16.23

2. 業績予想の修正理由

当社は、国内 A T M 事業における有形固定資産のうち、A T M は耐用年数を 5 年として減価償却を行ってきましたが、第 4 世代 A T M への全台の入替えに伴い使用実態及び将来の利用見込みの検討を行ったところ、従来の耐用年数と経済的使用可能期間との乖離が明らかになりました。これを契機として経済的使用可能予測期間に係る見直しを行った結果、当第 1 四半期連結会計期間より耐用年数を 7 年に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第 1 四半期連結累計期間の減価償却費が 1,077 百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 1,077 百万円増加しております。また、2027 年 3 月期通期においては減価償却費が約 4,000 百万円減少し、経常利益が約 4,000 百万円増加する見込みとなったことから、業績予想を修正いたしました。

（注）本資料に記載の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上